

藤沢市教育委員会 2 月定例会会議録

日 時 2018 年（平成 30 年）2 月 7 日（水）
午後 3 時 30 分

場 所 藤沢市役所本庁舎 3 階 3－3 会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 議 事
 - (1) 議案第 29 号 市議会定例会提出議案（平成 29 年度藤沢市一般会計補正予算（第 7 号））に同意することについて
 - (2) 議案第 30 号 市議会定例会提出議案（平成 30 年度藤沢市一般会計教育費予算）に同意することについて
 - (3) 議案第 31 号 藤沢市教育振興基本計画における事業の追加について
- 5 閉 会

出席委員

1 番 平 岩 多恵子
2 番 小 竹 伊津子
3 番 中 林 奈美子
4 番 大 津 邦 彦
5 番 飯 島 広 美

出席事務局職員

教育部長	村 上 孝 行	教育次長	小 林 誠 二
生涯学習部長	秋 山 曜	東京オリ・パラ開催 準備室室長	松 崎 正一郎
教育部参事	神 原 勇 人	教育部参事	松 原 保
教育部参事	小 池 規 子	生涯学習部参事	塩 原 彰 子
生涯学習部参事	赤 坂 政 徳	生涯学習部参事	玉 井 知 門
総合市民図書館長	高 橋 眞智子	スポーツ推進課長	笠 原 竜 雄
郷土歴史課長	横 田 淳 一	文化芸術課長	横 田 隆 一
学校施設課長	山 口 秀 俊	学校給食課長	板 垣 朋 彦
教育総務課主幹	佐 藤 繁	教育指導課主幹	窪 島 義 浩
生涯学習総務課主幹	山 口 雄 賢	生涯学習総務課課長補佐	峯 千 鶴
学校施設課課長補佐	西 山 勝	教育総務課指導主事	繁 里 洋 子
書 記	西 山 勝 弘		

平岩教育長 ただいまから藤沢市教育委員会 2 月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、3 番・中林委員、4 番・大津委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

平岩教育長 それでは、本日の会議録に署名する委員は、3 番・中林委員、4 番・大津委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 続きまして、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。

特にないようですので、このとおり了承することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

平岩教育長 それでは、このとおり了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 議事に入ります前に、議案第 29 号市議会定例会提出議案（平成 29 年度藤沢市一般会計補正予算（第 7 号））に同意することについて、議案第 30 号市議会定例会提出議案（平成 30 年度藤沢市一般会計教育費予算）に同意することについては、藤沢市議会定例会への提出案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書の規定により、非公開での審議としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

平岩教育長 ご異議がないようですので、議案第 29 号、30 号は、後ほど非公開での審議といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 それでは、議事に入ります。

議案第 31 号藤沢市教育振興基本計画における事業の追加について、上程いたします。事務局の説明を求めます。

神原教育部参事 それでは、議案第 31 号藤沢市教育振興基本計画における事業の追加について、ご説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、教育基本法第 17 条第 2 項に基づき定めた本市の教育振興基本計画における各施策の柱に位置づける実施事業の追加を行う必要によるものです。（資料参照）

第 2 期の教育振興基本計画は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間に取り組む計画として平成 27 年 3 月に策定いたしました。実施事業に

つきましては、第1期計画から掲載している事業の見直しと、子どもと社会をつなぐ教育の充実や防災への取組への対応など、社会情勢の変化の中で新たに提起されるようになった課題、また、「藤沢市市政運営の総合指針2016」との整合を図る視点から、総合的に判断して事業の位置づけをいたしました。このたびの事業の追加につきましては、本計画の策定後に、学習指導要領の改訂、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の取組、教育の機会均等などに対応する、教育にかかる新規事業が実施されていることによるものです。また、事業名と担当課名について変更があった事業については、現行に即するように修正をいたしました。

それでは、別冊資料「藤沢市教育振興基本計画 一別冊 事業集 その2-1」についてご説明いたします。「1 別冊事業集 事業の追加について」は、現行計画の策定の経過、今回の事業の追加について、また、全事業の進捗管理及び事業評価を毎年実施していることを記載しております。新たに追加した事業は、基本方針1、施策の柱1「中学校英語科教員派遣事業」、基本方針2、施策の柱4「奨学金給付事業」、基本方針4、施策の柱1「オリンピック・パラリンピック関連事業」の3事業です。事業名及び担当課名については、変更があった事業について記載しております。

次に、「2 計画の体系」として、教育振興基本計画の基本理念、3つの目標・8つの基本方針とそれに基づく26の施策の柱と、その施策の柱ごとに位置づけられている実施事業を一覧として記載しております。なお、今回追加した3事業につきましては、下線をしてお示ししております。

次に、「3 事業一覧」として、実施事業並びにその担当課等を記載しております。なお、今回追加した3事業につきましては、表の右端「新規」の欄に丸印をしております。実施事業は全部で102事業ですが、複数の施策の柱に位置づける事業は「再掲」という形を取っていることから、通し番号は115番までとなっております。

次に、「4 追加事業の概要」として、追加した各事業の事業目的や、事業内容、5年後までの目標及び成果、年次ごとの取り組み計画を示した表を記載しております。

それでは、議案書を読み上げます。(議案書朗読)

平岩教育長

事務局の説明が終わりました。議案第31号につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

中林委員

追加1-1の英語のところですが、指導する先生の選任方法とか、1年間同じ先生が活動していくのかという運営方法などが1つ。2つ目は29年度10校で実施しているようですので、教える側の先生、教えてもらっている側の先生の意見や感想など、さまざまな思いがあると思うので、その

辺の意見の吸い上げがされているのか、されているようであれば、30年度はどのような形で生かしていくのか、内容とか改善点等を考えているのか、この3点を教えていただきたいと思います。

松原教育部参事 中学校教員の派遣については、市立中学校に英語科の教員を派遣しているわけですが、担当課である教育指導課と校長会と連携して、小学校に派遣している方で、これまでの教員としての実績も含めてうまく連携していくにふさわしいところで人選をしております。担当する教員については、今年度は2名選出しております、2名で小学校10校に対して1年間通して担当しております。1名が5校担当している形になります。担当している学校に対しては、ほぼ月1回の割合で同じ教員が同じ学校に足を運んで、放課後の時間を使って、その小学校の全教員を対象に研修を実施しているという形です。

3点目の、今年度やってみての成果と意見反映ですが、概ね好評でありまして、小学校の教員にとっては、「英語」という部分の専門性を持っている県からの指導ということもあるのですが、子どもたちにどういうふうに英語に関わらせていく、導入の部分でどういったところをポイントにしていくのがいいのかというところがよくわかるという中で、好評を得ております。来年度に向けてということでは、今年度は10校受講しております、残り未実施の25校は来年度実施していく形になりますので、基本的には今年度やっていることを来年度、継続していくのですが、今年度実施している内容自体は、今年度未実施になっている25校について内容は情報提供しております、事前にそういった内容について研修を進めていくかということ来年度受ける学校については、情報を得た上で研修に臨むことができるというような体制を取っているところで

平岩教育長 補足いたしますと、今、2人で5校ずつ担当しながらやっているということですが、そこには教育指導課指導主事が入りながら、まず教材を研究して、同じ教材をそれぞれのところで選出された先生が学校で教えているということですので、どこの学校においても同じ教材を使っているということ

中林委員 人選についても素晴らしい先生を専任していただいているということで、体制もよく考えられていると思いました。先生方の多忙化がいろいろ言われているところですが、限りある時間の中で、やらなければいけないことはたくさんあると思いますけれども、これからも工夫をしていただいて、小学生の子どもたちのために、ぜひ充実した授業にしていきたいと思

小竹委員 奨学金給付事業については、大変素晴らしい制度だと思いますけれども、現在、これを利用している方はどのくらいいらっしゃるのか、教えていただけますか。

神原教育部参事 今年度から奨学金給付事業が始まっておりまして、昨年7月から8月にかけて選考を行いました。3名が選考を通りまして、うち2名については入学が決まっておりまして、入学金に当たる奨学金の支給をしております。もう1名については試験の結果待ちという状況で、最終的には3名の奨学生が誕生する形になるかと思っております。

平岩教育長 他にありませんか。
ないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)

平岩教育長 それでは、議案第31号藤沢市教育振興基本計画における事業の追加については、原案のとおり決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 以上で、本日予定しておりました公開で審議する案件はすべて終了いたしました。

委員の方で前回の定例会から本日までの間で報告事項のある方はいらっしゃいますか。

中林委員 私は1月25日に文部科学省で開催されました「平成29年度市町村教育委員研究協議会」に参加してまいりました。この目的は、教育及び教育行政全般について市町村教育委員会委員の理解を深め、教育委員会運営の活性化に資するというものであります。

はじめに、「初等中等教育施策の動向について」、文部科学省初等中等教育局企画官より、3つの柱について説明がありました。1つ目は、新教育委員制度について、2つ目の新しい学習指導要領の考え方については、今、さまざま言われております急速な社会の変化に対応するために、これからの教育はどのような方向に向かっていけばよいのかという点を、3つ目の学校における働き方改革については、先ほどの英語科教員の話にもありましたように、教員の多忙化や教員の学習指導にかかる時間が欧米の7割に対し日本では4割にとどまっていること、小中学校内で教員以外のスタッフ的な役割をする人が、欧米では教員同様の人数が配置されていることなど、数値的な根拠からも日本の教員の守備範囲の広さが指摘されました。それを解決していくには地域やPTA組織などの社会資源の活用も必要ではないかといった提案や、その他、家庭の教育力の低下などの課題提起がございました。

その後、5つの分科会に分かれました。私が参加した「特別支援教育の

推進について」では、文部省特別支援教育課専門官より、特別支援学級の在籍人員がこの10年で2倍となっていることなどの数字的な説明や、日本全体の現状説明の後、グループ討議を行い、参加者の地域の現状と課題、課題の改善方法などを話し合いました。課題については地域差があり、さまざまな課題をそれぞれ委員さんが真剣に取り組んでいる姿を感じることができました。それぞれの考え方、視点などは藤沢にとっても活用できるところが大変あると思われます。大変勉強になりました。有意義な協議会に参加させていただきました。今後も委員活動に生かしていきたいと思えます。

平岩教育長

ただいまの報告に対してご質問等ありますか。(なし)

それでは、次回の会議の期日を決めたいと思います。3月19日(月)午後6時45分から、傍聴者の定員20名、場所は本庁舎3階 3-3会議室において開催ということでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

平岩教育長

それでは、次回の定例会は3月19日(月)午後6時45分から、傍聴者定員は20名、場所は本庁舎3階 3-3会議室において開催いたします。

以上で、本日の公開での審議の日程はすべて終了いたしました。

午後3時45分 閉会